

# 取得後もインセンティブ得る

Gマークを10年連続で取得している越野運送（大阪市都島区）の越野泰弘社長。制度が始まってからすぐに取得し、現在も継続して更新している。越野社長は「一番最初に取得したいという気持ちと、運送業界に必要最低限のものと感じて取り組んだ」と話す。

同社はGマークを他社との差異化を図る営業ツールとしても考えており、日々の取り組みの中で必要項目



Gマーク表彰式の様子

## 越野運送

をクリアしていたこともあって取得。取得後は様々なインセンティブもあった。CNG車の購入時の助成金も受けることができたので、取得していて良かったと感じている」と話す。

2回目以降の更新は杉崎幹太管理部長が担当しており、法令順守の項目などを細かくチェックすることが年々大変になってきたと感じている。「10年前よりもハードルが高くなってきて

いると感じる。継続すればするほど、更新時の資料集めが難しくなってきた」と説明。運送現場の管理者として「取得して終わりではなく、継続していくことに意味がある」と話す。

認証関係の管理責任者として、日々意識を持ちながら仕事に取り組んでおり、「ドライバーも増えてきた中で、しっかりとGマーク取得事業者だということを浸透させて、これからも継続していけるように取り組んでいく」と意気込みを語る。（中村優希）